



高台住宅団地造成中（平成 26 年 1 月）

田老地区（岩手県宮古市）

田老地区は、明治や昭和の時代にも大津波の被害を受け、「万里の長城」とも呼ばれる巨大防潮堤を整備するなど津波対策を進めてきた地域でした。しかし、東日本大震災では、その防潮堤をも乗り越える大津波により、市街地は甚大な被害を受けました。

同地区では、宮古市からの委託を受け、区画整理事業で旧市街地をかさ上げして新しい宅地を整備し、防災集団移転事業では高台を切り開いて新しい住宅団地を整備しました。

平成 27 年 10 月からは、完成した高台での住宅再建が始まり、現在は住宅や保育園などが立ち並んでいます。区画整理事業で整備された宅地にも野球場が整備され、新しいまちの姿が見られるようになっています。

タイム
トリップ



高台住宅団地造成後（平成 28 年 8 月）



完成した野球場



住宅が立ち並ぶ高台